

# ナミビア月報

(2017年5月)

在ナミビア日本国大使館

## 【内政】

- ガインゴブ大統領、報道の自由を改めて強調
- 与党 SWAPO 青年部中央委員会、ガインゴブ総裁支持を表明

## 【外交】

- ガインゴブ大統領、C10首脳会合に出席
- ブラジル外相来訪
- スワジランド国王来訪
- ロシア副首相、ナミビアにおける原子力発電所建設への協力につき言及

## 【経済】

- アフリカ開発銀行、ナミビア政府へ30億ナミビアドル相当の融資を決定
- シュレットヴァイン蔵相、ナミビア航空のフランクフルト便廃止検討を指示
- 4月の消費者物価指数（CPI）は6.7%
- 2016年の失業率は34.0%（2年前より約6%ポイント上昇）
- 国営鉄道会社 TransNamib 迷走、幹部4名が不在に
- 第5次国家開発計画（NDP5）発表

## 【社会】

- マラリア患者約22,500名に
- ナミビア、競争力ランキングで総合第84位、アフリカで第6位

### 1. 内政

- ガインゴブ大統領、報道の自由を改めて強調

10日、世界報道の自由の日記念式典においてガインゴブ大統領は、先月「国境のない記者団」が発表した世界の報道の自由度ランキングでナミビアが今回もアフリカ内で第一位であったことに言及しつつ、ナミビアにおける言論・報道の自由を改めて強調、更にアフリカのみならず報道の自由度世界一を目指すと言明した。同式典では、スワジランドのNation誌編集長Bheki Makhubu（法廷侮辱罪で2014年に禁固刑）に対し、報道に対する勇敢な行動を讃えるウィントフック宣言賞が授与された。

●与党 SWAPO 青年部中央委員会、ガインゴブ総裁支持を表明

12～13日に開催された与党 SWAPO 青年部（SPYL）中央委員会は、今年後半（12月と見方が有力）に開催が予定されている SWAPO 総裁選挙に於いて、ガインゴブ現総裁代行（現大統領）が単独候補として総裁に選出されるべきとの勧告を採択した。しかしながら、同中央委員会を欠席したメンバーの中には、今回の中央委員会は正式な手続きに則らず開催されており、決定された内容は無効であるとして、法的対抗措置も辞さないとするものもあり、党青年部が一枚岩でないことが露呈。

## 2. 外交

●ガインゴブ大統領、C10首脳会合に出席

17日、ガインゴブ大統領は、赤道ギニアのマラボで開催されたC10首脳会合（注）に出席した。（注：AUに設置された委員会のひとつ。国連安保理改革について検討するために選ばれたナミビアを含む10ヶ国で構成されている。議長国はシエラレオネ。）

●ブラジル外相来訪

7日、ヌネス・ブラジル外相が、就任後初のアフリカ訪問先としてナミビアを来訪。8日にナンディ＝ンダイトワ副首相兼国際関係・協力大臣と会談。

●スワジランド国王来訪

10日、スワジランド国王ムスワティ3世がナミビアを公式訪問。SACU議長でもある同国王は、ウイントフックにあるSACU本部を初めて訪問。11日の首脳会談で「ム」国王は、両国は更なる貿易拡大のポテンシャルは高いとして、具体的品目としてナミビアの魚、スワジランドの砂糖を例に挙げた。

●ロシア副首相、ナミビアにおける原子力発電所建設への協力につき言及

24日、ロシア・ナミビア貿易経済協力会議出席のため来訪中のトルトネフ露副首相は、ナミビア商工会議所主催の経済界関係者との懇談会の席上、利用電力の6割を輸入に頼るナミビアは、自国のウランを活用するため原子力発電所を建設すべきと述べ、そのためにロシアは協力する用意があると述べた。

## 3. 経済

●アフリカ開発銀行、ナミビア政府へ30億ナミビアドル相当の融資を決定

10日、アフリカ開発銀行は、現在緊縮財政を余儀なくされているナミビア政府への財政支援のため、226.5億米ドル（30億ナミビアドル相当）を融資する旨発表した。同行は、右融資を、ナミビアのマクロ経済の安定性を損なう可能性のある脆弱性に対処し、ナミビア政府が長期の雇用創出及び経済格差是正に向けて取り組んでいる大胆な構造改革を支援するためとしている。報道によれば、上記30億ナミビアドルは、向こう2年間に同行が検

討している総額 100 億ナミビアドルの支援の一部。100 億ナミビアドルのうち、60 億は政府運営費 (operational financing) に充てられ、30 億ナミビアドルずつ 2 年にわたり提供される予定。また、残りの 40 億ナミビアドルは、インフラ整備のために留保され、具体的プロジェクト計画を踏まえ使途が検討される予定。

●シュレットヴァイン蔵相、ナミビア航空のフランクフルト便廃止検討を指示

11 日付ニュー・エラ紙は、シュレットヴァイン蔵相が公共事業・運輸省に対して、ナミビア航空のウィントフック・フランクフルト便 (毎日運行) の廃止を真剣に検討するよう求める書簡を発出したことを認めた旨報道。右によれば、「シュ」蔵相は、経済状況が芳しくないナミビア航空は、運航ルートを見直し、収益率の高いルートに注力すべきであり、現在のフランクフルト便は見直しの対象とすべきとの考え。これに対し、ナミビア航空及びシフェタ環境・観光大臣は、同ルートの廃止は観光産業に影響を与えかねないと懸念を表明。

●4 月の消費者物価指数 (CPI) は 6.7%

11 日に国家統計局 (NSA) が公表した 4 月の消費者物価指数 (CPI) は、前年同月比 6.7%。先月の 7.0% より 0.3% ポイント減少したが、昨年同月の 6.5% に比べまだ 0.2% ポイント高い。

●2016 年の失業率は 34.0% (2 年前より約 6% ポイント上昇)

24 日、ナミビア国家統計局は、2016 年に実施した 15 歳以上を対象とした労働力調査報告書の要旨を公表。同報告書の全文は本年 6 月末日までに公表される予定。

1. 全体失業率 : 34.0% (前回 2014 年調査時 : 28.1%)
2. 男女別失業率 : 男 (29.8%)、女 (38.3%)
3. 都市部 (urban) 対農村部 (rural) : 都市部 (30.3%)、農村部 (39.2%)
4. 州別 : 失業率最低 : 21.9% (Erongo 州 (スコップムント及びウルグイスベイあり)  
失業率最高 : 52.2% (Kunene 州 (北西部。ヒンバ族が多く居住)  
なお、首都ウィントフックのある Khomas 州の失業率は 28.4%)
5. 若年層 (15 歳 ~ 34 歳) : 43.4%

●国営鉄道会社 TransNamib 迷走、幹部 4 名が不在に

ナミビアの鉄道敷設・運営を一手に担う国営企業 TransNamib 社の理事会は、28 日声明を発表し、25 日付で Hippy Tjivikua 前社長代行及び Struggle Ihuhua 財産マネージャーに停職を命じ、同人らに対する汚職疑惑について調査を行うこと、及び現社長代行の Michael Feldoman 及びマーケティング部門のトップの二人が辞職することを明らかにした。同社運営理事会議長の Paul Smit は、TransNamib 社のマーケティング部門は業績不振であり同社の業務を再編成する必要がある、当面社長代行は一ヶ月毎のローテーションで他幹部が職務を遂行すると述べた。TransNamib 社は 2014 年 10 月に当時の社長が秘密漏

洩、背任等の疑いで職を解かれて以来、Tjivikua氏が社長代行を務めたが、同社の業績不振は続き、本年4月末、突然同氏は社長代行の職を解かれ、新社長代行としてFeldoman氏が任命されていた。31日付ナミビアン紙の報道によれば、Feldoman社長代行の辞任理由は、理事会メンバーに批判されることに嫌気がさしたため。

●第5次国家開発計画（NDP5）発表

31日、ガインゴブ大統領は、第5次国家開発計画（NDP5）を発表した。NDP5は2030年まで工業立国になることを目指す国家計画Vision 2030を実現するために向こう5年間（2017/2018～2021/2022）に実施すべき開発計画を網羅するもの。四つの柱（1. 経済的前進、2. 社会変革、3. 環境持続性、4. 良きガバナンス）のもと、GDP成長率年平均4-5%を達成し、新規雇用を25万人創出するなどの目標を掲げている。ただし、具体的プロジェクトの内容及びそれに必要となる経費については今後発行される第二分冊で明らかにされる予定（注：報道では、80プログラム、171プロジェクト、投入総額1642億ナミビアドルなどの数字が出ているが、正式にはまだ発表されていない。）。

4. 社会

●マラリア患者約22,500名に

17日、保健・社会サービス省ムーンボラ次官は、1月の大発生以降認知されたマラリア患者数は約22,500名に上った旨述べた。同次官によれば、同省が実施するマラリア対策キャンペーンでこれまでに18万人以上を検査した結果、約1万2千名がマラリアと診断され、直ちに治療が施された。右キャンペーンは一般にマラリア発生のピークが過ぎると言われている5月末まで実施される予定。

●ナミビア、競争力ランキングで総合第84位、アフリカで第6位

世界経済フォーラムが公表した2017年のアフリカ競争力ランキングで、ナミビアは総合84位。アフリカ大陸で第6位。ナミビアより上位は、モーリシャス（45）、南ア（47）、ルワンダ（52）、ボツワナ（64）、モロッコ（70）。

（了）